



正・副議長決まる

5月臨時会において正・副議長が決まりました。



副議長
湯井 廣志



議長
針谷 賢一

就任にあたって

市民の皆様へ就任のご挨拶を申し上げます。

この度、平成20年第2回藤岡市議会臨時会におきまして議員各位のご推挙により私どもが議長・副議長の要職に就くことになり、その重責と使命の重大さを痛感している次第でございます。

少子高齢化が進み、地方分権化、行財政改革等課題が山積している中、自治体

の自己決定権は、益々拡大し、住民の意思を代表する議会の担うべき役割も以前に増して増大しています。

我々市議会も市民の付託に応えるため、市民の皆様と共に住みよい藤岡市をつくるために、皆様の声を公平公正に反映させ、わかりやすく市民の皆様へ伝えるる議会を目指したいと考えております。

なにとぞ、市民の皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。

6月定例会のあらまし

定例会は、6月10日から6月20日まで11日間の会期で開催されました。
藤岡市国民健康保険条例の一部改正についてなど18議案、議員提出議案1件が提出されました。

- ◇10日〓本会議、会期の決定。市長提出議案17件を即決。
- ◇11日〓経済建設常任委員会、教務厚生常任委員会。
- ◇17・18日〓本会議 一般質問。
- ◇20日〓本会議 委員会付託議案1件、議員提出議案1件を即決。



藤岡まつり 富士浅間神社宮神輿渡御

6月定例会

一般質問

財政健全化法の施行について

湯井 廣志

問 地方公共団体の健全化に関する法律の一部が施行され国より4つの指標が示された。このうち一つでも基準以下になると国の管理下で再生を図る財政再生団体となる。そこで次の9月議会よりこの審議が始まりますが、4つの指標について藤岡市は何%になるのか伺います。

答 はっきりとは答弁しづらいですが、現時点では早期健全化基準の枠内におさまると考えています。

問 数値は指標よりかなり低いので問題ないようですが、将来の藤岡市を示す将来負担比率が時間がかかるため示されない。藤岡市の将来を考えた時、最も大事な数値であると考えます。なぜなら、藤岡市は広域と合わせれば約450億円もの債務を抱えている。吉井町が来年にも高崎市に

行こうとしている。当然、多野藤岡広域は成り立たない。藤岡総合病院、藤岡消防署も益々負担が重くなる。高崎市との合併、高崎広域との合併を考えるべきであると思うが伺います。

答 どのような策が必要か、調査研究をして行きたい。

後期高齢者医療制度について

問 75歳以上の後期高齢者医療制度が今年の4月より開始されたが様々な問題が浮上している。低所得者の負担増・主治医制度で月額6000円、人間ドックはなし、月の途中で75歳になれば医療費が二重に取られる。未納者は保険証を取り上げられるなどある。与党は見直し案を出したが財源が2年間で900億円も不足する。太田市は国の方針を待たず、独自の制度を作り保険料補助金を10月より支給すると決めています。広域連合運営のこの制

度は市独自で変えることはできないが、藤岡市独自の制度は幾らでもできるわけですから、新たな助成制度、保険料の負担軽減をすべきであると考えますが伺います。

答 国の方針、広域連合の方針がはっきりした時点で、対応を考えていきたい。

市街化調整区域内の許可基準の改正について

阿野 行男

問 市街化調整区域内の雑種地や建築する目的で農地転用を受けていた土地は、平成21年4月からは家が建てられなくなる。この改正の目的と藤岡市の対応について伺います。

答 高齢化及び人口減少社会を迎え集約型都市を目指すことが目的で、市街化調整区域内の新規の宅地の必要がなくなるとい

とです。市街化調整区域内で建物ができなくなる土地は、およそ59ヘクタール、1300筆あり、周知方法は広報ふじおかやホームページ、個別通知を考えています。

問 藤岡市独自の基準を設けて救済を少しでも増やしていく考えがあるのか伺います。

答 指定基準とは別に独自の基準を定めることや許可基準を独自に定めることは可能ですが、県との協議、同意が必要です。今後、藤岡市にとってよりよい、地域にあった基準を定め運用できるよう取り組んでいきます。



一般質問

学校図書室及び市立図書館の整備と利用状況について

山田 朱美

問 児童・生徒の心の成長に欠かせないのが読書活動だと思われる。読書環境の整備は、行政に課せられた大事な課題である。市内の学校図書室の充足率と予算の推移を伺います。

答 学校図書標準は学校規模によって異なる。市内小中学校の充足率は、新聞で報道されたように小学校18%、中学校0%である。図書購入予算の推移については一定の水準を確保している。充足率が100%に満たない状況の中、児童・生徒が十分な読書の機会を得られる環境を作っていきたいと考えている。

問 藤岡市は各学校図書以外でもパソコン検索で市立図書館や他の学校の図書も利用できる先進的な取り組みだと思ふ。市立図書館と学校との取り組みにつ

いて伺います。

答 市立図書館は専門的立場から巡回司書や、学校とのネットワーク化、学習コーナーの設置、学校図書館ボランティア研修等を行うことにより、本好きな子どもが多くなってきている。

問 市立図書館の市民サービスについて伺います。

答 今年の9月より開館時間を午後8時まで延長し、市民サービスの拡大を図っていきたい。又、移動図書館や学校貸し出しもおこなっており、利用者の拡大を図っていきたい。

市内小中学校の校庭整備の状況について

問 市内小中学校の雨水地下排水工事を含め、校庭の整備について伺います。

答 旧鬼石町の3校は

排水性の良い施工がしてあるが、その他市内の学校は全面的にはしていない。

問 旧藤岡市内の学校の校庭は、水はけが悪く、水たまりや水の流れの後がでさる。耐震補強工事と、大規模改修工事の最終年度に合わせ校庭の整備をする考えはないか伺います。

答 藤岡市においては、耐震補強工事と大規模改修工事を最優先に実施していきたい。今後10年間かけて校舎、体育館等の整備をしていきたい。

ふるさと納税について

窪田 行隆

問 第4次藤岡市総合計画を執行していくためにもふるさと納税を活用して寄付を募り、寄付者の意志を反映させていくことが必

要です。現在の寄付金の受け入れについて伺います。

答 寄付者の意向を伺いながら使い道を補正予算に計上します。平成19年度は213万6000円となっています。有効に活用させていただいており、感謝しています。

問 ふるさと寄付条例の制定を提案します。これは複数の政策を示し、市民や全国の方に政策を選んで寄付してもらうものです。自主財源の確保とともに、寄付の金額、件数に市民の要望が反映されることで、住民参加型の行政が推進できます。市民の要望の高い政策を示して、寄付条例を制定すべきと考えますが伺います。

答 地方税法改正に伴い、市税条例改正を9月議会に上程する予定です。ふるさと寄付金条例も、これに合わせて上程するべく検討を進めております。

藤岡歴史館

について

茂木光雄

問 国指定重要文化財の単鳳環頭大刀と円頭大刀の常設展示ができないか伺います。

答 この2本の装飾大刀は平成9年に国重要文化財に指定されましたが、保

管できる施設がなかったため、県に寄託し保管してありました。平成17年に藤岡歴史館の開館により文化庁の許可を得て特別収蔵庫にて保管し、年1回の企画展示にて一般公開を行っています。装飾大刀等の金属製資料は腐食劣化が進行しやすいため、公開期間は文化庁等の指導もあり、年に1回1ヶ月程度に設定しております。今後は装飾大刀が製

作された当時の復元レプリカを作成し展示することで、見学者の方々に当時の装飾大刀の存在感を実感していただきたいと考えています。

環境衛生について

問 道路、側道、農道、公園やごみステーションなどに、空き缶や紙くず、たばこの吸いがらや犬のふん

等のポイ捨て、不法投棄が多く見受けられます。市はどのような防止策を実施しているのか伺います。

答 藤岡市では「藤岡市空き地の清潔保持に関する取り扱い要綱」を定め、市民の責務として「空き地にごみ、燃えがら、汚泥等の廃棄物をみだりに放棄してはならない」と定め、ごみの不法投棄の通報があつ

た場合は職員が現地を確認し、所有者または不法投棄者が確認できた場合には、その者に対し指導等を行っている。犬のふんについては、事業者、住民から排出されるごみでないため、諸法令による罰則規定がなく、飼い主に対するマナーの啓発が大きな課題となっております。

耐震対策について

渡辺新一郎

問 藤岡市が進めている小・中学校の耐震工事に並びに改修工事の進捗状況について伺います。

答 市内の小・中学校は小学校11校、中学校5校で、校舎50棟、体育館18棟、全体で68棟です。そのうち建築基準法改正前の建物は、校舎36棟、体育館5棟で計41棟で全体の60%を占めており、この41棟を対象に耐震化計画により、平成27年

度には耐震化工事を完了する予定です。

問 公共施設、特に市役所、幼稚園、保育園等の耐震対策を伺います。

答 庁舎を初め、藤岡市の財政状況と照し合わせ、緊急性の高い施設から順次進めていきたい。

新エネルギー

ビジョンについて

問 新エネルギービジ

ョン策定の背景と目的について伺います。

答 地球温暖化問題やエネルギー問題が背景にあります。経済活動の発展に伴い、温室効果ガスを大量に排出し、その結果、大気中の温室効果ガス濃度が高まり、地表付近の気温が徐々に上昇する。この地球温暖化が今後も進んだ場合、大規模な気候変動が生じ、地球環境にさまざまな影響が出る懸念があります。

新エネルギービジョンの目的は、地域資源を有効に活

用して新エネルギー導入を推進していく事で、地域の活性化も視野に入れた指針づくりを行う事を目的として策定しております。

問 どのような新エネルギーを導入するか伺います。

答 市民、事業者アンケートで、8割以上が太陽エネルギーと回答し、妥当と思います。

問 太陽発電の住宅助成制度について伺います。

答 藤岡市独自の助成制度を検討します。太陽光発電補助金も検討の一つと考えており、早い時期に制度化したいと考えています。



ふじおか子育て 支援構想について

吉田 達哉

問 子育て支援構想に、身近な公園整備とあります。他市と比べて少ないと思うが市の認識を伺います。

答 身近な公園は5ヶ所で整備水準は低いと考えています。

問 今後の事業の進め方について伺います。

答 緑豊かな生活環境を形成する事が課題となります。公園、緑地などの整備水準の向上を目標に整備を検討したいと考えています。

交通安全対策について

問 児童・生徒の通学路の状況について伺います。

答 道路が狭く歩道の無い所や見通しが悪く危険な場所は安全マップを作成し、安全確保に努めています。

問 道路の改善や信号機等の設置は学校独自ではできません。都市建設部や警察と情報を共有し、危険箇所は速やかに改善してほしいが伺います。

答 定例で危険箇所の改善策について協議しています。今後も関係機関に要望します。

問 狭い道路や歩道の無い道路にカラー舗装を施し、車道と歩道・自転車道の区別をし、ドライバーや歩行者に通行区分の認識を促す施策をしていますが、一部の場所に限られます。もつと普及させてほしいが伺います。

答 カラー舗装は、歩行者の安全確保のために設置しています。区長や学校関係者の意見を聞き計画的に整備をしていきます。

問 センターラインや外側線、止まれや横断歩道等の道路標示が消えている場所があります。事故につながる可能性があるので速

やかに改修して欲しいが伺います。

答 外側線は市で対応します。止まれや横断歩道等の規制、指示標示は警察署に連絡し補修を要望します。

問 歩道の視覚障害者の誘導ブロックを更に普及

させたり、破損している歩道等を修復したりして、歩行者や自転車に優しい歩道整備をして欲しいが伺います。

答 必要な場所に点字ブロックを設置し、歩道も破損した場所は修繕をおこないます。

道路特定財源について

渡辺 徳治

問 藤岡市で、道路特定財源を使ったここ十年間の事業の内容、一般会計からの支出、起債額等について伺います。

答 都市計画道路については、緑町線、小林立石線、北藤岡駅前通り線の3路線及び幹線市道6路線合わせた総事業費が31億400万円、そのうち道路特定財源分として13億2700万円が国より交付されました。また、一般会計からの支出、起債額については、都市計画道路緑町線、小林立石線、北藤岡駅前通り線

及び市道110号など6路線、合わせて13億4000万円を一般会計から支出し、起債については合計4億3600万円であります。

問 道路特定財源を使って造られた道は、13、14メートル幅の高規格道路ということですが、市街化区域の生活道路には一切使われてこなかった。使つてはいけないという規定があるのか伺います。

答 一般的には広い道に使われていますが、狭い道も計画を立てれば利用は可能です。今まで利用はしてきませんでした。

福祉問題について

問 63年前、原爆の放射能を浴びてから様々な病気に侵され、苦しんできた被爆者たちが最後の力を振り絞るように戦っています。全国で305人の被爆者たちが国を相手に原爆症認定集団訴訟を闘っています。その控訴審で仙台、大阪両

高裁は、1審に続き原告全員勝訴の判決を言い渡しました。これまでは病気の原因が原爆のせいであることを被爆者自らに立証させてきました。認定制度を被爆者の実態に合ったものに、被爆者が安心して暮らせるようにすべきです。藤岡市に被爆者手帳を交付されている人、この他に被爆者と思われる人、申し出た人は何人いるのか。この人たちにどう援助していくのか伺います。

答 原爆症認定者はおりませんが、被爆者健康手帳を所持している方は12名、第2種健康診断受診者証の所持者は1名おります。藤岡市として支援できるものは対応していきたい。

第4次総合計画 における市街地 の整備について

岩崎和則

問 中心市街地活性化の意義について伺います。

答 中心市街地は、昔からこの地の伝統と文化を作り上げてきた重要な役割を持つ「まちの顔」であり、中心市街地の活性化は、市の重要課題であると考えます。

問 中心市街地活性化基本計画を今後、実施計画の中でどのように策定していくか伺います。

答 実施計画は、第4次藤岡市総合計画の基本計画で示された行政施策を直接の事業実施に結びつける計画であり、的確な財政的裏付けの基に3年間の計画として、毎年実情に合わせて修正を加えながらローリングして事業計画と財政計画を作成しています。このため今後中心市街地活性化基本計画の策定に向けて検討す

る中で、具体的に予算計上が必要となる時期には実施計画に計上していきたいと考えております。

定住人口の確保、 人口増加策について

問 藤岡市全域の空き家、空き店舗の調査及び情報収集を集分析し、一元化して県内外へホームページにより情報発信をしてはどうか伺います。

答 現在、空き店舗等の調査予定はありませんが、平成20年度より藤岡商工会議所が空き店舗等の実態調査を行う予定です。市としても参画し協議を進めたいと考えております。

問 空き地、空き店舗、山間部の空き家、休耕農地を市で買い上げて新規出店者を誘致してはどうか、また、クラインガルテン等の整備の推進をしてはどうか伺います。

答 不動産業に類似する行為であり、市が物件を買い上げての実施は困難と考えますが、過去に山間部の観光資源の問い合わせに對し地元区長等の情報に基づいて、所有権者との仲介を行った事例もあります。今後も、可能な範囲内で情報提供をしたいと考えております。クラインガルテン等の整備については、JA等関係機関と今後検討してまいります。

問 不動産業に類似する行為であり、市が物件を買い上げての実施は困難と考えますが、過去に山間部の観光資源の問い合わせに對し地元区長等の情報に基づいて、所有権者との仲介を行った事例もあります。今後も、可能な範囲内で情報提供をしたいと考えております。クラインガルテン等の整備については、JA等関係機関と今後検討してまいります。

登下校の安全対策 について

青木 貴 俊

問 何年前前から世帯の状況により門が閉じられ

ている「あんしんの家」等がある。現在の設置状況や新入生にどのように設置場所、利用方法を説明しているのか伺います。

答 93地区、約1000

件の設置を予定しております。新人児童並びにその保護者への周知の仕方は、各校ともさまざまな工夫をしているところですが、例えば1日入学や入学説明会において、保護者にその趣旨を説明し、その存在を知らせるなど、いろいろな取り組みで児童・生徒や保護者に周知を図っています。

問 自衛隊OBによる防犯パトロール隊、各地域に組織されている防犯パトロール隊等が活動中に知り得た情報、警察や市役所、学校、PTA関係などが知り得た情報などはどのように共有されているのか伺います。

答 防犯パトロール隊が活動を行っている中でこの情報は、いち早く伝達する必要があり。警察や学校、市役所等に連絡し、情報を共有しており、市は通報があった情報は速やかに防犯パトロール隊及び近隣の自主安全パトロール隊の隊長に連絡し、地域でできる防犯活動の実施をお願いしています。

問 小学校区域に1カ所程度、各防犯パトロール隊や警察関係者、地域の自主的な防犯団体等が立ち寄り、情報交換し共有する「地域安全安心ステーション」を設置したらいかがでしょうか伺います。

答 情報交換の場として、有効なものであり、設置されることが望ましいと考えます。設置に向けて検討します。

都市間交流 について

問 大都市の活力を藤岡市に呼び込みたいと思いますが、新たな都市間交流について伺います。

答 東京都中央区と交流を検討しています。文化交流やスポーツ交流、また観光などが考えられます。交流はできる事業から始め、市民と区民の交流が図れるよう最大限の努力をしていきたいと思っています。

高齢者の 安心・安全について

齊藤 千枝子

問 認知症の早期発見について、また介護の手引き等を家族に配布できないか伺います。

答 健康診査及び生活機能評価の受診時に認知症の疑いがある場合、医師から早期の指導や治療ができるよう医師会と協議し進行予防を進めていきたい。また家庭での正しい介護の仕方などのリーフレットを作成し配布できるよう努めていきたい。

問 高齢者の健康を守ると共に医療費の削減にもつながる肺炎球菌ワクチン接種に助成することについて伺います。

答 情報収集に努め効果を検証するなど検討していきたい。

問 税の申告をする上で障害者控除があります。

65才以上の介護保険の要介護認定者の場合、申請により対象者認定証が交付され障害者控除が受けられます。制度自体を知らなければ申請もできませんが、市民への周知について伺います。

答 記載内容など市民にわかりやすく、広報ふじおか、ホームページ等に掲載をしていきたい。

合併特例債と地震 防災対策特別措置 法及び総合学習セ ンターについて

松本 啓太郎

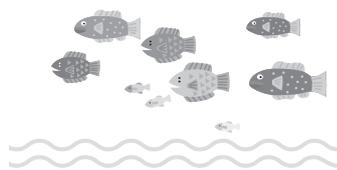
問 合併特例債を利用した事業・利用予定の事業について合併特例債の何%利用するのか伺います。

答 市内の小学校11校、中学校5校の耐震補強、大規模改修事業に活用する計画です。年次計画を計画的に立てても10カ年必要とな

り、総事業費として約70億円・合併特例債として約47億円、小野小学校体育館・プール建設と合算すると約50億円の活用となります。また総合学習センター整備事業費約18億円、そのうち合併特例債として約15億円を活用する予定です。合計で約65億円の活用となり、合併特例債活用上限額の122億4000万円の約53%の活用になります。

問 耐震補強工事費と大規模改修工事費の割合を伺います。

答 平成20年度に工事を行う4校については耐震補強工事費約1億4000万円、大規模改修工事費約11億円であります。



市営住宅について

青柳 正敏

問 市営住宅の耐震強度は確保されているのか。老朽化した住宅はマグニチュード幾つくらいまで倒壊しないと予測しているのか。

入居者の安全は保障されているのか。市は危険を承知で入居させているのか。他の事業を少し圧縮する分でも人命を最大限尊重する市政運営をすべきと思うが、何か有ったら行政責任と思うが、老朽化した住宅への入居を許可している重大性をどう理解しているのか。一戸建て市営住宅の耐震補強はどうするのか。計画的な市営住宅供給を何故何年もの間行わないのか伺います。

答 木造住宅の耐用年数は30年であり昭和29年から昭和42年迄229戸を建設し、古いのは築53年経過している。現在迄35戸を老朽化により取り壊しました。現在の耐震強度基準には適合していないが耐震対策は

行っていない。平屋なので逃げやすい。建て替え計画を策定してあるが施策に上らない。市長が予算権限を持っているからすべて市長執行でやるとは思っていない。

市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市役所2階議会事務局前の傍聴人受付へ申し込んでください。

問い合わせは
市議会事務局
(☎ 21211内線2361) へ

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録（9月上旬公開予定）をご覧ください。

議案等審議結果〈5月臨時会〉

番 号	件 名	結 果
(市長提出議案)		
報告 5 号	専決処分の承認を求めることについて (藤岡市税条例の一部を改正する条例)	承認 (全員一致)
報告 6 号	専決処分の承認を求めることについて (藤岡市都市計画税条例等の一部を改正する条例)	承認 (全員一致)
報告 7 号	専決処分の承認を求めることについて (藤岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認 (全員一致)
報告 8 号	専決処分の承認を求めることについて (藤岡市戸籍法関係手数料条例の一部を改正する条例)	承認 (全員一致)
報告 9 号	専決処分の承認を求めることについて (平成 19 年度藤岡市一般会計補正予算第 5 号)	承認 (全員一致)
報告 10 号	専決処分の承認を求めることについて (平成 19 年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算第 3 号)	承認 (全員一致)
第 59 号	藤岡市都市公園運動施設管理条例の一部改正について	可決 (全員一致)
(選挙、選任)		
第 1 号	議長選挙	当選
第 2 号	副議長選挙	当選
	総務常任委員会委員長の互選	当選
	総務常任委員会副委員長の互選	当選
	議会運営委員会委員の補欠選任	選任
	議会運営委員会副委員長の互選	当選

議案等審議結果〈6月定例会〉

番 号	件 名	結 果
(市長提出議案)		
報告 11 号	平成 19 年度藤岡市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
報告 12 号	平成 19 年度藤岡市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
報告 13 号	平成 19 年度藤岡市簡易水道事業等特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
諮問 2 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし(全員一致)
諮問 3 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし(全員一致)
第 60 号	監査委員の選任について	同意 (全員一致)
第 61 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 (全員一致)
第 62 号	藤岡市議会議員及び藤岡市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 63 号	藤岡市国民健康保険税条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 64 号	藤岡市交通遺児等手当支給条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 65 号	藤岡市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第 10 条第 1 項の規定に基づく準則を定める条例の制定について	可決 (全員一致)
第 66 号	藤岡市市営住宅設置条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 67 号	藤岡市監査委員条例の一部改正について	可決 (全員一致)
第 68 号	平・根際農事集会所の指定管理者の指定について	可決 (全員一致)
第 69 号	群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議について	可決 (全員一致)
第 70 号	工事請負契約の締結について	可決 (全員一致)
第 71 号	工事請負契約の締結について	可決 (全員一致)
第 72 号	工事請負契約の締結について	可決 (全員一致)
第 73 号	工事請負契約の締結について	可決 (全員一致)
第 74 号	土地の取得について	可決 (多数)
第 75 号	土地の交換について	可決 (多数)
第 76 号	建物の取得について	可決 (多数)
第 77 号	市道路線の認定について	可決 (全員一致)
(推薦、選挙)		
第 3 号	藤岡市農業委員会委員の推薦について 群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	推薦 当選
(議員提出議案)		
第 2 号	「難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患に対する総合的対策の早期実現」を要望する意見書の提出について	可決 (全員一致)
(請願)		
第 1 号	後期高齢者医療制度の撤廃を求める請願	継続審査
第 2 号	難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患に対する総合的対策の早期実現を求める請願	採択 (全員一致)
第 3 号	ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願	不採択 (少数)

編集後記

夏の風物詩である鬼石夏まつり、藤岡まつりも大勢の市民参加のもと盛大に開催されました。また、今年の藤岡まつりには姉妹都市から羽咋市議会議員 8 名の方が来藤し、20 日の夜は山車の打ちこしを、21 日にはふじふれあい館、藤岡歴史館を視察見学していただき交流を深めました。

さて、6 月の定例会では、小・中学校の校舎大規模改修建築工事請負契約の締結をはじめ各議案の議決を行い、また、13 名の議員が一般質問を行いました。

今後も市民の皆様には議会活動をより正確に伝えると共に、内容をより充実した議会だよりにしたいと思っております。今後とも、よろしくお願いいたします。

委員長 斉藤千枝子
副委員長 茂木光雄
委員 渡辺徳治
委員 青木貴俊
委員 冬木一俊
委員 佐藤清淳
委員 反町達哉
委員 吉田清哉